

JAなんぽろ青年部通常総会



くみあいたより

# JAなんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <https://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

## 令和8年第1回営農振興組合長会議を開催

1月23日（金）、J A 3 階大会議室で第1回営農振興組合長会議を開催しました。

会議の前段に、南幌町米麦改良協会より推進員委嘱が行われ、林代表理事組合長から各営農振興組合長に委嘱状が交付されました。

営農振興組合長会の役員については、会長に川向営農振興組合長の清水友貴さん、副会長に



鶴城営農振興組合長の西野友和さんとなりました。また、他の議案についても協議され、取りまとめ事項などが確認されました。

各営農振興組合長におかれましては、J A 事業の円滑な推進を目的に1年間ご協力をお願いいたします。



### 令和8年度 営農振興組合役員名簿

地区名	振興組合長	副組合長
三 重	(株)足立農場 足立 敏明	川崎 弘秋
青 葉	橋爪 英機	堺 利徳
鶴 城	西野 友和	(有)エイム 川崎 圭介
晩 翠	(株)城地農産 城地 真吾	河口 宏一
晩 翠 西	堀米 博之	幅中 友幸
夕 張 太	山本 隼	伊藤 拓也
川 向	清水 友貴	広場 晃大
栄 進	縄 貴洋	森口 育民

## 令和7年度蔬菜園芸組合総会を開催

1月26日（月）、南幌町蔬菜園芸組合は、

J A 3 階大会議室にて総会を開催しました。

来賓として南幌町より大崎町長、J A より林代表理事組合長と高島専務、笹島常務が出席し行われました。

総会では、昨年度の事業報告や決算報告、販売実績の報告に來年度の事業計画等、審議された内容は、全て賛成多数で承認されました。

### 議案

第1号 令和7年度事業報告並びに決算報告に

ついて（監査報告）

第2号 令和8年度事業計画（案）並びに収支

予算（案）について

第3号 役員改選について

### 報告事項

1. 令和7年度販売実績報告について

2. 価格安定基金内訳について



## 丙午年の農作物の豊作を祈願

1月6日（火）、J A 2 階中会議室で南幌神社より宮司を招き新春祈願祭が行われました。

祈願祭には、林代表理事組合長をはじめ、役員や青年部長、女性部長、各部署の部・室・次・課長等が参列しました。

本年も、五穀豊穡を願うと共に組合員・役員が無病息災でいられるようお祓いをしていただき、その後、参列者全員が玉串奉奠を行いました。



## 冬季栽培技術講習会を開催

1月20日(火)、JAなんぼろ3階大会議室で、冬季栽培技術講習会が開催されました。今回の講習会は、水稻、小麦に関するさまざまな情報提供を行い、生産性向上を図ることを目的として行われました。

講師には、空知農業改良普及センター空知南西部支所の古館地域係長、大山専門普及指導員、山本普及職員、JAなんぼろ資材課の長船技師、の4名が登壇し、講義を行いました。



大山専門普及指導員からは水稻に関して、昨年のような高い気温で推移した時の影響やその対処法、乾田直播や湛水直播の調査報告等がされました。山本普及職員からは、令和7年産秋小麦の生育概要と縞萎縮病抵抗性品種である「きたほなみR」について試験結果等の説明、古館地域係長からは、同じく秋小麦の播種時期別の収量調査の説明がありました。長船技師は秋小麦の北海道における南幌町の位置付けについてや、町内の土壌改良の取り組みを踏まえた小麦の生産性向上の事例を紹介しました。

講習会終了後、同会場にて農地GIS圃場管理支援システム追加機能説明会が行われ、講師の(一財)北海道農業近代化技術研究センターの西村チーフリーダーより、JAなんぼろで導入している圃場管理ツールの農地GIS圃場管理支援システムについての基本操作や新機能の作業履歴入力機能についての解説がありました。

令和8年産の水稻、秋小麦の栽培に向けて非常に有益な講習会となりました。

## 春作業衣類等展示即売会開催

1月22日（木）から23日（金）の2日間、JAなんぼろグリーンセンターにて、春作業衣類展示即売会が開催されました。

春作業衣類展示即売会では、手袋や衣類、長靴等の商品をはじめ、多種多様な商品が並べられておりました。

また、東洋羽毛北部販売株式会社による羽毛布団の実演販売等も行われ、多くの組合員の皆様に、ご来場・体験いただき、盛況で終えることができました。



## 4Hクラブ活動報告会

12月12日（金）、JA3階大会議室で南幌町4Hクラブ活動報告会が開催されました。

ゼミナール活動報告では、白倉誠也氏（三重）より「R7年度秋まき小麦4H流考察」と題し、播種時期別に茎数や収量の違いのほか、止葉期以降の追肥が収量に与える影響等、グラフを用いてわかりやすく検証されていました。

活動報告の後には、南幌町都市整備課長の黒島滋規氏より、南幌町の歴史とこれまで長年にわたり行われてきた農地の整備事業についての講演が行われ、クラブ員は真剣に話を聞いていました。



## 永年の勤続を表して

1月6日（火）、JA3階大会議室で勤続10年・30年を迎えた職員5名の表彰式が行われ、林代表理事組合長より賞状と記念品が贈られました。

勤続30年を迎えた職員は、野澤俊裕部長（総務部）、金瀧裕一考査役（資材課）、勤続10年を迎えた職員は、尾崎竜太郎係（農業振興課）、堤一茂係（蔬菜園芸課）、丸山雄大係（施設課）です。表彰後に受賞者を代表して、野澤部長より謝辞が述べられました。

表彰された5名は、当JAに入協以来10年または30年という長きにわたり、職務に忠実に精励し、農協事業に貢献してきました。

また、今年で勤続20年を迎えた職員は、佐藤和也係長（共済課）となります。



## 青年部通常総会を開催

令和8年1月7日（水）、JAなんぼろ3階大会議室で令和8年JAなんぼろ青年部通常総会を開催しました。

総会では令和7年度事業報告並びに令和8年度事業計画・収支予算や役員改選など、審議された議案について、全て承認されました。

石川新部長からは、「盟友数が減少していく中ではあるが、青年部活

動の継続と魅力ある活動を目標に頑張っていきたい」と新体制に向けた意気込みを話していただきました。

総会終了後には、石川新部長より昨年実施された海外研修で経験したことや学んだこと等が報告されました。

総会によって今年度の活動基本方針等が決まったので、今後は新役員を筆頭に青年部活動をより盛り上げていきたいと思います。

なお、新役員は下記、活動基本方針は左記のとおりです。

### 令和8年度活動基本方針

1. 盟友一人一人が青年部としての自覚を持ち、青年部活動に参加する。
2. 関係機関と連携し、食農教育の一端を担い、食の大切さを伝える。また、ホクレンくるるの杜での農業体験・町内食育活動を通じ、消費者との交流を深める。
3. ホームページ等のインターネット運営や南幌農産物の販売活動を通じて、JAなんぼろ青年部活動を全国に向けて発信する。
4. 関係機関との交流会を実施し、知識を広める。
5. JA夜まつり等のイベントに参加し、南幌町の活性化に貢献する。
6. 営農技術向上のため各種研修会、勉強会に積極的に参加する。



参 与	代表監事		部 長	
	高島 裕也 (米進・有NOAH)	高島 裕也 (米進・有NOAH)	石川 卓也 (晩翠西)	
監 事	会 計		副部長	
	渡辺 純樹 (晩翠西)	若杉 朋樹 (米進)	増田 秀樹 (晩翠・有フローア)	
参 与	参 与		参 与	
	奈良岡 凌平 (川向)			



# 長船技師による営農情報！



## 復元田に対する施肥について

JAでは、昨年秋に組合員の方々から提出していただいた土壌サンプルの分析が終了し、現在、処方箋を作成中です。施肥相談会の日程が決まり次第ご案内しますので宜しくお願いします。本年の特徴として復元田の分析依頼が多くなっています。今月は復元田の特徴と施肥についてお話ししたいと思います。

### 1 土壌窒素の供給と吸収

転作田を一定期間経過後に再び水田に戻した復元田は、通常の連作田とは異なる特徴が見られます。

- (1) 畑地利用時に乾燥が進んで亀裂が下層土まで発達し、連作田よりも透排水性が向上しています。
- (2) 泥炭土の場合、転作時のプラウ耕などで下層の泥炭が上層へ混入し、作土の有機物含量が増加します。
- (3) 水田土壌をいったん乾燥してから湛水すると、無機態窒素量が増加します。通常、復元田における水稻窒素吸収量は連作田と比べて増加します。

図1 水稻窒素吸収経過

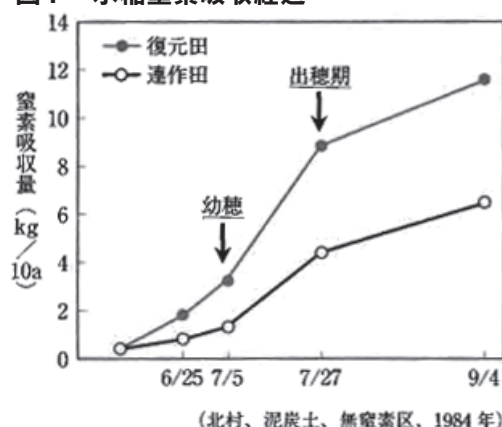
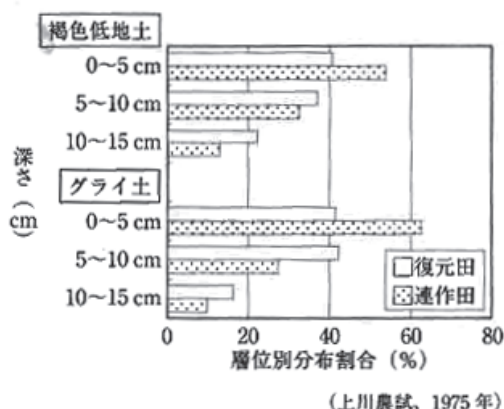


図2 水稻根層位別分布図



### 2 復元田に対する窒素施肥対応

「北海道施肥ガイド2020」では、復元田の窒素施肥に当たり、土壌型や前作物の種類や復元田の年数ごとに、施肥標準に対する窒素施肥率を設定しています。

#### 復元田における窒素施肥対応

土壌区分	前作物の種類	復元後の年数	施肥標準に対する施肥率	施肥配分	
				全層	側条
低地土(乾) 灰色低地土 火山性土	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ	1年目	70~80%	50%	50%
		2年目	100%		
	てん菜茎葉すき込み、牧草、野菜	1年目	50~70%		
		2年目	60~80%		
グライ低地土 台地土	秋まき小麦春すき込み <sup>1)</sup>	1年目	60%		
	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ	1~2年目	60~70%		
	てん菜茎葉すき込み、牧草、野菜	1~2年目	40~60%		
	秋まき小麦春すき込み <sup>1)</sup>	1年目	50%		
泥炭土	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ	1~3年目	50~60%		
	てん菜茎葉すき込み、牧草、野菜	1~2年目	30~50%		
	秋まき小麦すき込み <sup>1)</sup>	1年目	40%		

1) 雪腐れ病の多発などによりやむを得ず起生期にすき込み場合の施肥対応

(「北海道施肥ガイド2020」より)

※透水性の大きい礫質土壌では減肥しない

※リン酸・カリの施肥量は施肥標準に従う

※秋まき小麦春すき込みの2~3年目は麦類に準ずる

参考資料:「北海道の施肥最適化マニュアル」、「北海道施肥ガイド2020」

# 臨時理事会報告

12月26日

12月臨時理事会で審議された主な内容について、

次のとおり報告申し上げます。

## 【監査講評】

第3四半期末 自治監査

## 【議案】

1. 令和8年度 事業基本方針について
2. 令和7年度 クミカン 供給限度額の変更について
3. 固定資産の取得について
4. コンプライアンス・マニュアルの改正および要領の制定について
5. 出資金の減口について

## 【報告事項】

1. 秋の経営懇談会の開催報告について
2. 令和8年度産米の「生産の目安」について
3. 令和7年度 農薬割戻奨励の精算について
4. 令和6年度 系統米の本精算について
5. 令和6年度 民間流通麦本精算について
6. 令和6年度 国内麦流通円滑化特別対策事業交付金の支払について
7. 令和6年度 北海道共同計算大豆本精算について
8. 令和7年度 民間流通麦の概算金追加支払について
9. 令和7年度 委託調製大豆に係る仮渡金の支払について
10. 令和7年度 委託調製なたねに係る仮渡金の支払について
11. 令和7年度 原料てん菜に係る仮渡金の支払いについて
12. 令和7年度 玉ねぎの概算金支払について
13. 会計監査人の再任について
14. 令和7年度 第3四半期仮決算の結果について
15. コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
16. 要領の改正について
17. リスク情報について
18. 令和7年度 農地流動に係る出資増口について
19. 年末手当の支給について

# 理事会報告

1月16日

1月定例理事会で審議された主な内容について、

次のとおり報告申し上げます。

## 【議案】

1. 令和8年度における貸付利率の最高限度の決定及び信用の供与等の限度額の設定並びに専決処理の委任について
2. 令和8年度 内部監査計画について
3. 理事会の諮問審議委員会への諮問について
4. 正組合員の資格確認について
5. 第78回 通常総会の開催について
6. 規程の改正について
7. 固定資産の除却について

## 【報告事項】

1. 第1回 営農振興組合長会議の開催について
2. 12月末 農産物保管状況について
3. 定款第54条第3項の規定による利益相反取引について
4. 12月期 J A ローン の貸付について
5. 内部監査の実施報告について
6. 要領の制定について
7. 人事について
8. 12月末 財務状況について

## 表紙の紹介

◎今月号は、当JA青年部の皆さんに表紙を飾っていただきました。



## 私達のJA

令和7年12月末日現在

組合員	2,605名
(前年同期比)	▲12名)
正組合員	406名
(前年同期比)	▲5名)
准組合員	2,199名
(前年同期比)	▲7名)
正組合員戸数	254戸
(前年同期比)	▲6戸)

## 職員動向

退職（1月31日付）

木村 亮介（営農部 農業振興課 農業振興係）

松村 晃汰（営農部 資材課 生産資材係）

## 編集後記

今年は雪が少ないなあと思っていた矢先に連日大雪が続き、除雪に追われてやっと冬を実感した上地ですが、先日初めてホワイトアウトに遭遇しました。自分が今どこにいるのかわからない恐怖はもう二度と経験したくないですね。皆さんも安全運転で無理せず過ししましょう。

発行 南幌町農業協同組合 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号

TEL 011-378-2221(代表)、011-378-2274(直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和8年2月1日

ホームページ <https://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp

企画・編集 営農部農業振興課 印刷 ㈱トリムシステム